

2025年4月1日
第586号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

物価高騰に負けない大幅賃上げ求め
3・13全国統一行動を実施

3月12日の回答を受け、25春闘最大のヤマ場となった13日の全国統一行動では、朝のストライキ決起、日中の経営者要請行動、夕方は大宮駅西口での宣伝行動と、終日にわたり大奮闘しました。

午前8時30分から埼玉医労連の全日赤さいたま、民医労（埼玉協同病院）、全

医労・東埼玉支部（国立病院機構東埼玉病院）で30分のストライキを含む決起集会が行われました。全日赤さいたまのスト集会には、JMITU・泉田委員長、全国一般・水野谷委員長、埼労連・龍尾幹事が激励に駆けつけ、連帯のあいさつで職場の組合員を激励。



11組織・40人が参加（大宮駅西口）

民医労は埼玉協同病院の敷地内で40人が参加してストライキ集会を実施、埼労連から山崎幹事、建交労・白原書記長が支援に駆けつけました。民医労は30分のスト集会後に組をつくって埼労連の最賃署名に取り組み、職員だけでなく患者さんからも集めました。

また、全医労東埼玉支部の宣伝行動に加藤幹事、国公から丸山議長、鶴巻事務局長、JMITU・門井顧問が支援に駆けつけました。

医労連では、三郷の勤医会みさと分会（協立病院）と健和会三郷分会でも指名ストライキが実施されています。



ストライキに決起（埼玉民医労）

JMITU埼玉地本は、3月6日の第一次統一行動に続き、東鋼業支部、日信工業支部、東京セキスイハイム支部、芝浦電子支部で経営者要請を実施。埼労連から六戸事務局長が通し参加、東鋼業支部に草加八潮地区労、東京セキスイハイムに蓮田地域労連から役員が経営者要請に参加しました。

夕方は大宮駅西口で埼労連加盟単産の県本部役員などが40人集まり、午後5時30分から6時30分まで大宣伝行動を実施し、日中の行動の報告と訴え、チラシを配布しました。地域では、蔵地区労協が朝に自治体門前宣伝を実施しています。（4面・5面に春闘関連の単産・地域のとりくみなどを掲載）

紙面から

- 3.13全国統一行動 (1面)
- 埼教組・冬のコンパニー (6面)
- 3・6中央行動 (3面)
- 国会議員要請行動 (7面)
- 25春闘の取り組み (4面・5面)
- 埼労共のページ (8面)

県内各地域で20000人が参加 2・26地域総行動

埼玉春闘共闘・埼労連は、25春闘山場の1つ、地域総行動を2月26日(水)を中心に全県でとりくみました。県内27地域で、住民と全労働者を視野に、「最低賃金は1800円をめざそう」「物価高騰を上回る賃金引き上げを」などの声をあげました(草加八潮地域・朝霞4市地域総行動を写真等で紹介)。

埼玉県要請

26日昼は、県庁前から浦和駅西口まで昼休み集会・デモ行進を行い、県庁周辺に事務所のある労働組合や団体から30人以上が参加、25春闘勝利に向けて沿道を行き交う人たちに春闘をアピールしました。

26日の午前中は、埼玉労連が埼玉県要請を行い、県庁で雇用される労働者の処遇改善について、正規職員・非正規職員(会計年度任用職員)のほか、公契約下で働く労働者の生活安定のため適切な賃金が支払われる仕組みを整備するよう要請しました。

2月26日(水)午前10時30分からの埼玉県との春闘要求での懇談には埼玉労連から、小野副議長、宍戸事務局長、加藤幹事が参加。窓口の雇用労働課の副課長たちと意見交換をしました。

浦和駅まで行進

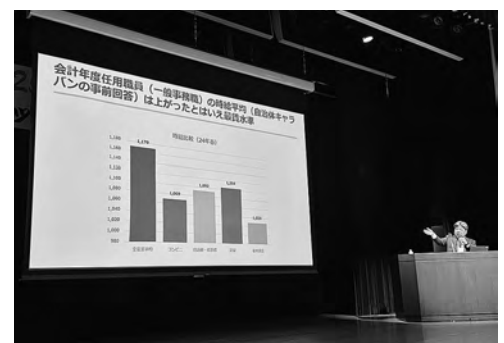
民への公共サービス
の質を高めるために、
適正な人員配置
を行い、正規職員の
長時間労働を早期に
是正すること。
②正規職員の初任



県へ要請書提出



草加・八潮地域総行動



朝霞4市地域総行動

第96回 埼玉県中央メーデー

『第96回埼玉県中央メーデー』を2025年5月1日(木)に北浦和公園で開催します。

式典と文化行事の2部構成として、今年はデコレーションコンテストの代わりに、全員参加型のクイズ等を行う予定です。

また、県内各地域で地域メーデーも開催されます。地域メーデーへの参加も含め、メーデー成功への協力をお願いします。

日時 5月1日(木)
会場 北浦和公園
開会 10時(予定)
終了後パレード(県庁まで)



95回メーデー

日比谷野音に3000人が結集 3・6中央総決起集会

全労連・国民春闘共闘委員会は3月6日(木)、東京・霞が関周辺で25春闘中央行動を展開しました。12時10分から、日比谷野音楽堂で開いた中央総決起集会には全国の仲間約3000人が結集し、「物価高騰に負けない大幅賃上げ」「最低賃金を今すぐ全国一律1500円以上に」の実現を訴えました。

あいさつした秋山代表幹事(全労連議長)は、大企業が内部留保



集会には3000人参加



秋山議長あいさつ

を増やし続ける一方で、実質賃金は物価高騰以降マイナスとなっている日本経済の異常さを指摘し、「日本を賃金上がる国に変えていくためにも、私たち労働者のたたかいが求められている。要求に団結し、ストライキを構えて毅然とたたかい抜くことで大幅賃上げを勝ち取る」と力強く呼び掛けました。

全労協の渡辺議長が来賓あいさつをおこない、「最低賃金1500円を今すぐ実現しなければならぬ」と述べると、会場内から「そのとおり」と賛同の声が上がりました。国会からも、日本共産党の山下参議院議員、やまた参議院議員があいさつに駆け付け、25

春闘での大幅賃上げに連帯するあいさつをおこないました。

黒澤幸一事務局長は「私たちの運動によって国民の意識が変わり始めている。財界・大企業が賃上げせざるを得なくなったのは私たちのたたかいの成果」と激励。

集会後には、国会請願デモと最賃院内集会・署名提出行動がおこなわれ、院内集会には、立憲民主党の末松義規議員をはじめ、立憲民主党、日本共産党、沖縄の風の衆参国会議員があいさつに駆け付け、その場で「全国一律最低賃金制度を求める請願署名」を手渡しました。



最賃署名を提出

最賃審議委員の公正任命もとめ 労働局へ署名提出と懇談

埼玉最低賃金審議委員は審議委員の任命を2年ごとにおこなっています。今年改選期にあたるため、埼玉連から5人(医労連、コープネットグループ労組、全国一般、福祉保育労、埼玉連)を労働局要請を行いました。

埼玉最低賃金審議委員は審議委員の任命を2年ごとにおこなっています。今年改選期にあたるため、埼玉連から5人(医労連、コープネットグループ労組、全国一般、福祉保育労、埼玉連)を労働局要請を行いました。

当日は埼玉連から5人(埼玉高教、コープネットグループ労組、埼玉連3名)が参加して賃金室に要請しました。「委員の公正任命を求める団体署名」92筆を提出後

2025年3月13日(木) 第40号

最賃署名・生計費調査とくみ推進ニュース

集約目標 「最賃今すぐ1500円(署名10万筆(2月~6月))
要求前連へ 対話を広げ、仲間とともに目標数をやりきろう!
発行：埼玉連最賃委員会 電話 048-638-0771

最賃審議委員の公正任命を求め

◆埼玉連が埼玉労働局賃金室へ要請
埼玉最低賃金審議委員は委員の任命を2年ごとにおこなっています。今年改選期にあたるため、埼玉連から5名(埼玉連労組、コープネットグループ労組、全労連、全国一般、福祉保育労、埼玉連：うち女性3名)を労働局委員に推薦しました。
3月11日(水)には埼玉連から4名(埼玉高教、コープネットグループ労組、埼玉連2名)が参加して賃金室に要請しました。「委員の公正任命を求める団体署名」92筆を提出(写真)後、要請。当局からは委員と賃金指導官の2名が対応しました。現在の最賃審議委員は5名のうち女性1名のみです。すべて埼玉連からの選出で、UAゼンセン、電機連合、JAM、自動車総連、連合埼玉のメンバー構成です。
要請では、①非正規労働者の多数が女性が多いため女性の委員を増やすこと、②製造業出身者が主となる構成から、女性や非正規労働者を多く抱える産業から委員を任命する必要性などを訴えました。

◆署名アクション「稼働! 標準生計費(体職)へエントリーせよ!!」
昨年10月に若年単身世帯の生計費調査結果を出して以降、学習会が各所で進められています。埼玉連では、当事者が主体となった取り組みをこの春大きく展開しようと「若者アクション」を準備しました。埼玉連の最賃生計費(月額216万円(税抜))と比較し、国が出している「標準生計費」ははるかに少ないです(月額119万円(税抜))。果たしてこの金額が「普通の暮らし」に正しくなるものだろうか、1ヵ月の生活費で検証する取り組みです。検証結果によって最低賃金引き上げの議論などにも有効な資料になります。取り組みへのエントリーを積極的にお願いします。

「稼働! 標準生計費(体職)へ低すぎる標準生計費で暮らしを〜」
日時：4月1日~30日
内容：月の前半を「埼玉最低生計費額」で暮らし、月の後半を「国の標準生計費額」で暮らしてみよう。具体的にはこちらが指定した家計簿に毎日の支出額を記入し、半月ごとのまとめを出してそれぞれを比較してみる。(家計簿はExcelデータ版も準備しています)
目標：各組織から複数名(全体50名)
対象：若年単身世帯(未婚)の方。家族と同居の方も可(最終までやり切るのに、一人だけでなく、先輩もエントリーしたい。家族も含めて1ヵ月を乗り越えよう)
途中、SNSなどで進捗状況の発信も検討しています。
※1ヵ月達成者にはオコエカードを進呈します(先輩は対象になりません)。
冊子回収：5月16日(金)埼玉連必着
※体験をまとめた資料は7月の最賃審議委員会へ提出します。ご不明な点はお問い合わせください。

◆全労連最賃ビデオ
(生計費調査にかかわる価格調査の動画あり)の活用を! →→→→

全国統一行動のとりくみ

J M I T U

J M I T U 埼玉地本は統一回答日である3月5日(水)を受け、要求額に対する回答が不十分というところで、4支部・分会が時限ストに決起し、リリーストライキを実施しました。リリーストライキ激励行動では、埼玉合唱団と埼玉連・宍戸事務局長が通して参加。東鋼業支部、大東工業大宮分会、東京セキスイハイム支部、日信工業支部の4支部・分会へスト激励をしました。東鋼業支部、東京セキスイハイム支部、日信工業支部



東鋼業



東京セキスイハイム

埼玉地本では、2月19日の統一要求日に11支部・分会が要求を提出、平均要求額は4万1889円(12・19%)でした。5日の回答指定日には、4日以前の回答済みを含めて8支部・分会に回答があり、有額回答が7支部・分会、5桁回答が5支部で、うち昨年妥結額と同等あるいは上回る回答を引き出した支部は大東工業大宮分会、日信工業支部、村松フルト



芝浦電子

支部の3支部・分会でした。それでも要求額との乖離が大きいため、翌日の3月6日にストライキに決起しました。また、全労連・国民春闘共闘が提起している3月13日の25春闘統一行動日には、前日の再回答を受け、第二次統一行動を実施、埼玉連・地域組織に支援要請し、東鋼業支部、東京セキスイハイム支部、日信工業支部のほか、台湾企業ヤゲオにTOB宣告されている芝浦電子支部に足を運び、支部激励・経営者要請行動に取り組みました。行動後には、埼玉春闘共闘が主催する大宮駅西口での宣伝行動に合流して、春闘の状況について報

告しました。物価高騰に負けない大幅賃上げを勝ち取るため、25春闘勝利に向け、ともに頑張ってくださいませ。

(J M I T U 発)

蕨地区労協

3月13日は、春闘統一行動とともに3・13重税反対統一行動が取り組まれ、午前9時に西仲公園に集合し、西川口税務署までパレードを展開し80人が参加しました。蕨地区労協は市役所前で早朝宣伝行動を行いました。昨年の人勸を受け、蕨市職労は

正規職員の賃金引き上げと併せ会計年度任用職員の賃金・一時金の4月遡及や有給休暇制度の範囲拡大で成果を上げました。その内容を知らせる情報紙「わらび」を配布しました。この日は、正規職員だけでなく会計年度任用職員も視野に、7時45分から9時まで配布しました。職員のピラの受け取りや反応もよく、300枚を配布することができました。宣伝行動には市職労役員を含め、4団体5人が参加しました。(蕨地区労協発)

蕨地区労協

発行：蕨地区労協
蕨市北町2-5-19
埼玉土建センター受付
電話：048-441-8130
FAX：048-441-8130

3/13、市役所早朝宣伝行動

3月13日は、「3・13重税反対統一行動」が取り組まれ、9時に西仲公園に集合し、西川口税務署までパレードを展開し80人が参加。同日、蕨地区労協は市役所前で早朝宣伝行動を行いました。昨年の人勸を受け、蕨市職労は正規職員の賃金引き上げと併せ会計年度任用職員の賃金・一時金の4月遡及や有給休暇制度の範囲拡大で成果を上げました。その内容を知らせる情報紙「わらび」を配布しました。この日は、正規職員だけでなく会計年度任用職員も視野に、7時45分から9時まで配布しました。職員のピラの受け取りや反応もよく、300枚を配布することができました。行動には市職労役員を含め4団体5人が参加しました。



職員に配布する地区労協組合員



当日配布した情報「わらび」

- 〈蕨地域の共同の取り組み〉
- 3/19(水)「健康保険控除」宣伝 16:30~ 西口
 - 3/19(水)「憲法守り生かす政治」宣伝 17:00~ 西口
 - 3/25(火)蕨社協 19:30~ 中央公民館講座
 - 3/28(金)年金者組合・卓球 13:30~ 土建センター

ゼロ回答相次ぎストに決起

さいたま赤十字病院労組（全日赤さいたま）は3月13日（木）、午前8時30分から1時間のストライキを決行し、支援者も含め13人が参加しました。

全日赤さいたまでは、2月28日に要求書を提出し、3月7日に団体交渉を行っていますが、参加した院長からの発言はなく、納得のいく回答はありませんでした。さ

らに全日赤本部による昨日の団交でも「春闘は始まったばかりで状況を極め、日赤の足元の財政状況も踏まえて検討するので回答は差し控えたい」との発言で、全国統一行動（ストライキ）が呼びかけられ、冒頭のスト決行となっています。



全日赤さいたまストライキ集会

集会で全日赤さいたま・宮本書記長は、「派遣の賃金を上げるために他を下げるなど判断を持ち込む状況にある。しかし、国がすすめようとした高額療養費の引き上げを私たちの声や運動で凍結させた。私たちが動くと変わる。今日は『わくわくの日』組織拡大 声かけの日』でもあるので、仲間を増やし、要求を勝ち取ろう」と報告しました。ストライキ支援として、日本医労連、全日赤本部、埼

また、蓮田市にある全医労・東埼玉支部は25春闘でのゼロ回答で2月28日にストライキに決起しましたが、3月の交渉でもゼロ回答が続いていることから、3月13日（木）朝8時30分から2回目的指名ストに突入、正門前で抗議集会を行いました。



全医労・東埼玉ストライキ

当該組合員のほか、埼玉医労連から小貫書記次長、埼玉県国公から丸山議長、鶴巻事務局長、埼労連・加藤幹事のほか、地元・蓮田地域労連からJMITUの仲間が支援に駆けつけました。



大幅賃上げ求め宣伝

公務共闘も合流

3・13大宮駅宣伝行動

25春闘最大の山場となった3月13日の全国統一行動は、朝から医労連職場で時限ストに決起、JMITU職場では経営者要請でリリース支援行動を展開。夕方は、単産県組織役員が中心となって大宮駅西口で午後5時30分から大宣伝行動を展開しました。

宣伝行動には11組織から40人が参加（JMITU9、医労連3、全労連・全国一般3、コープネットグループ労組2、埼教組3、埼高教1、自治労連3、県国公3、SU2、さいたま地区労3、埼労連事務局8）し、労働相談フリーダイヤルを印字したミニチラシ付きティッシュに25春闘チラシを入れて配布。

自治労連・埼教組・埼高教・県国公は埼玉公務共闘として独自の宣伝物200セットも用意しました。約1時間の宣伝で公務共闘のチラシはなく

なり、春闘チラシも800セットを配布しました。

実戸事務局長の進行で、藤田議長のほか、JMITU、医労連、コープネットグループ労組、全労連・全国一般、自治労連、埼教組、埼高教、県国公、SU、さいたま地区労から代表がスピーチして、25春闘の状況などの報告と合わせ、「労働組合に入って賃金を引き上げよう」と駅前を通る人たちに訴えました。

当日に青年教職員1人が加入 冬のコンパニー(埼教組)

埼教組は2月22日(土)、恒例となった冬のコンパニー(冬コン)を開催しました。

第1部は、埼玉大学の北田佳子さんの講演「『子どもの学びをみる』とは」。①子どもの学びのみかたは人それぞれで、同僚と共有することが大切である。②同僚とともに、子どもの学びをみる眼を磨いていくことが重要である。③同僚と子どもの学びをみる活動を積み重ねることで自分のみかたの癖や偏りに気づき、専門性を高めることができる。こんなことを、ワークショップを交えながら教え



34人が参加

ていただきました。

第2部は、グループトーク。対話のためのビンゴでアイスブレイキングした後、講演の感想や日々の問題意識、組合への思いなどについて、5人ほどのグループで対話しました。

参加者は34人で、未組合員の参加者の青年教職員1人が組合に加入しました。

当日加入した青年は組合とさまざまなつながりのあった方で、「これまで何回も組合の学習会に参加させてもらいました。採用試験対策講座でもお世話になりました。みなさんのおかげで採用試験にも合格しました。組合のみなさんに恩があるのです」と話していました。

終了後の「オフ会(懇親会)」にも17人が参加。当日組合加入した青年や、今年度新規に加入した組合員も参加し、交流を深めました。

(埼教組発)

大きく育つ組合セミナー(自治労連)

自治労連埼玉本部は2月22日(土)、さいたま共済会館で「大きく育つ組合セミナー」を開催し、19人が参加、4月の新採職員を迎えるこの時期を前に、単組の日常活動の改善と新採加入に向けた意思統一を図りました。

茨城・常総市職労の前澤海執行委員長の講演では、小さな集まりを大事にする常総市職労の日常活動の実践を話し、「情報収集と情報発信を欠かさないこと」「未加入の職員向けにしゃべり場を対象

者をお誘って募集。特に誰かをお誘いすることが大事」「組合のハンドブックを作成」「Xを活用した発信の工夫」を学びました。

講演を受けての分散会では「単組で集まりやすい工夫は?」「単組で始められる情報発信・情報収集とは?」などをテーマにディスカッションを行いました。

日頃集まるのが困難ななかで、どんな工夫をすれば集まりやすくなるかについて、「定例化する」「短時間でやる」「同じフロアなど共通する人を誘う」「交流会に未組合員を交えて先輩が誘う」など、これからの活動のヒントを持ち帰りました。

金属労働者のつどい

JMITUや、中立の金属製造労組でつくる金属労組懇談会は3月1日、金属労働者のつどい・東日本集会を都内で開き、大幅賃上げを勝ち取ろうと決起しました。

集会後は、「全国一律最低賃金1500円実現」などの手作りのボードを掲げて元気よくデモ行進しました。

実行委員長の三木陵一JMITU U委員長は「大企業だけでなく、

中小企業の内部留保も1990年からの35年間で5倍も増えている。全体として賃上げの原資は十分にある。ないのは原資ではなく経営者のやる気だ」と力を込めて訴えました。

国民春闘共闘委員会の秋山正臣代表幹事(全労連議長)が来賓あいさつ。埼労連からは藤田議長をはじめ、3人が激励に参加しました。



新歓期の組織化を討論



最賃Tシャツで参加(埼玉)

全国一律最賃署名への賛同を要請 埼玉選出国会議員要請

県民大運動実行委員会主催の国

会行動埼玉デーが3月12日(水)

に行われ、埼玉連は最賃・公契約

適正化委員会を構成する労組を中

心に、全国一律最賃制度への賛同

を求め、まだ紹介議員になつてい

ない埼玉県選出の国会議員(参議

院議員)に要請しました。

要請内容は、「全国一律最賃制

確立を求める署名」の紹介議員に

なつてほしいというもので、対象

となる10人を訪問しました。

埼玉連の最賃・公契約適正化委

員会から、小野副議長(埼玉高

教)、占部副議長、柏原幹事、上

田幹事(コープネットグループ労

組)、林博義全国一般副委員長、

加藤幹事(埼玉連)、龍尾幹事

(埼玉連)が参加し、3組に分か

れて訪問しました。

要請では、ほとんどが秘書対応

でしたが、「先生に伝えます」と

丁寧に対応してくれるところ

と、面会はせずにポスト

への投函での対応(維新の

会)など、様々でしたが、

本人が対応してくれた岩淵

議員(日本共産党・比例)

は、その場で紹介議員を了

承してくれ、伊藤岳議員

(日本共産党・埼玉)は後

日FAXで了承の回答を送

つてくれました。

国会議員要請について

は、今後も継続し、埼玉選

出の国会議員の賛同を広げ

ていきます。

全体集会には60人が参加



第9期埼労連ゼミ 受講者募集!

勤労者通信大学の基礎理論コースを集団

で学習します。毎月第4金曜日18時30分～、オンライン併

用で開催。労働者教育協会常任理事の生熊茂実氏が

講師を務めます。参加費12,000円(15,000円のところ3,000円

を埼労連が補助)申込み・問い合わせ: 埼労連(山崎まで)

第9期 埼労連ゼミ

基礎理論 を体系的に学ぶ集団学習

真実とは何から見抜く哲学。資本主義社会の法則をつかむ経済学。人類のさまざまな実践。たまたみの積み重ねによる社会発展の理論。歩みをつまずめる力に。

- 講師: 生熊茂実氏(労働者教育協会 常任理事、JMETU 中央本部 前委員長)
- 受講料: 12,000円(15,000円のところ、埼労連が3,000円を補助します)
- 場所: 埼労連2階会議室+オンライン併用(ZOOMでおこないます)
- 日時・内容: 6~11月 毎月第4金曜日 18:30~20:30

第1部	ものの見方・考え方
6/27(金)	第1章 人間という存在
	第2章 ものの見方・考え方—唯物論と弁証法
7/25(金)	第3章 人間の社会とその歴史 + 第1部テスト概要
第2部	資本主義経済と暮らし
8/22(金)	第4章 商品、貨幣、市場のしくみ
	第5章 資本主義の搾取のしくみ、資本蓄積と矛盾
9/26(金)	第6章 現代の資本主義 + 第2部テスト概要
第3部	たたかいと社会進歩
10/24(金)	第7章 現代社会と社会変革
	第8章 日本社会の変革をめざして
11/28(金)	第9章 未来社会を考える + 第3部テスト概要

- 2017年から8期開催し、すでに60人超が受講しています。
- 労働運動にとって必要な科学的社会主義に基づく基礎理論を集団で学習します。
- 各組織の役員や次期役員、次世代の役員候補など、要求運動の発展や組織強化拡大に向けて、受講をお願いします。

申込みは、埼労連へ 6月9日まで
*問合せ: 埼労連(048-838-0771・山崎)
※ 高尾、労働者教育協会に取次がされている場合は、ご連絡ください。

戦後80年をテーマにオンライン講座 連続講座の第1回が開催

「憲法・くらし・安保」総学習
オンライン講座(第4期)が始ま
りました。

「戦後80年をむかえて」をテー
マに5回講座で、埼玉学習会議と
共同で集団視聴会にとりくんでい
ます。

3月13日の第1回目は、渡辺治
・一橋大学名誉教授「戦後80年と
日米同盟の現在—日米同盟と日本
国憲法の攻防」で、5団体12人が
参加しました。参加者から「歴史
がわかってきました」「戦後80
年、日米同盟73年について支配層

の策動の2つの柱に沿った話がわ
かりやすかった」、「支配層と私
たちのたたかいが重要な局面に入
っていることを再認識しました」
などの感想が寄せられました。
アメリカ力従属の大軍拡では国民
の暮らしは悪くなるばかり。学び
を力に憲法が活かされる政治の実
現をめざし行動しましょう。

第2回4月10日(兵頭淳史氏)
第3回5月8日(山田敬男氏)
第4回6月12日(杉井静子氏)
第5回7月24日(小沢隆一氏)
いずれも浦和コミセン18時55分

20時40分です。
(準備の關係から受講を希望す
る人は事前申し込みをお願いしま
す。担当・山崎)



5団体から12人が参加

